

環境保全・地域貢献レポート



平成17年度 びわぎん緑と水の基金助成事業

(美しい湖国をつくる会〈大津市〉の活動風景)

「美しい湖国をつくる会」はびわ湖を美しくする運動など自然環境保全のための清掃活動に熱心に取り組んでおられます。びわぎん緑と水の基金では、その趣旨に賛同し、同会の活動をバックアップしています。



大津市：仰木の里



草津市：平湖



甲賀市：陶器神社

当行は昭和50年以来、毎年地元の公園や社寺、学校等に桜を寄贈しており、写真のように立派に成長した桜を県内各地で観ることができます。その数はすでに3万本に達し、当行が寄贈した桜でびわ湖を取り囲むことができます（びわ湖1周約190km：7m間隔で換算すると1周を軽く超えます）。



みんなで止めよう温暖化

チーム・マイナス6%

びわこ銀行は政府が呼びかける“チーム・マイナス6%”の趣旨に賛同し、温暖化防止のため「環境銀行」の取り組みをはじめさまざまな活動を行っています。

「環境銀行」ビジネスモデルで好評価

おかげさまで、2つの全国的な賞を受賞することができました

第2回エコプロダクツ大賞 エコサービス部門 環境大臣賞



平成17年12月15日
東京ビッグサイト
(東京都：江東区)
エコプロダクツ2005会場
にて授賞式に参加



第4回日本環境経営大賞 環境経営部門 環境経営優秀賞



平成18年6月7日
ホテルグリーンパーク津 (三重県：津市) にて
授賞式に参加

環境関連預金

●エコ・グランプリ定期預金

各種環境関連表彰受賞の謝恩定期預金です。大変お得な金利設定に加え、びわこ銀行の環境関連預金の特色である環境関連団体への寄付もしっかり行います（お客さまのご負担はありません）。

●エコ&チャレンジ定期預金

半年後の滋賀県に関する3つの指標（1日の最高気温・最低気温、びわ湖の水位）を予想していただき、その正解数によって優遇金利を適用します。

トピックス >>> 環境銀行

エコ&チャレンジ定期預金で 全問正解者が出ました！

昨年12月の発売開始以来、皆さまには半年後の指標を予想していただいておりますが、6月21日ついに、**見事、全問正解され、年3.0% (税引後2.4%) の優遇金利を獲得**された方が出ました。

正解日の各指標

- 最高気温.....**28**度
- 最低気温.....**20**度
- 琵琶湖の水位
.....(マイナス)**19**センチ

「環境銀行」では、「環境」と「金融」をマッチングさせ、着実にその取り組みを広げています。おかげさまで当行の「環境銀行」ビジネスモデルは各方面で高く評価していただくことができました。

をいただきました

環境関連融資

●耐震リフォームローンを発売

琵琶湖西岸断層帯の脅威に関心が高まっている中、当行ではいち早く地震対策リフォームの必要性に対応したローンを発売しました。

ご自宅の耐震リフォーム資金を大変有利な条件で、ご融資いたします。

- 【ご利用いただける方】
- 申込時満20歳以上満65歳以下の方
 - 安定した収入のある方
 - 当行が指定する保証会社の保証が受けられる方
 - 『木造耐震診断報告書』の交付を受けておられる方

●エコライフプランに新メニューを続々追加

環境にやさしい住宅の購入・リフォーム等に対して優遇金利を適用する「エコライフプラン」にオール電化・各種ガス利用住宅・びわ湖材（地産材）利用住宅を追加しました。

【エコライフプランの優遇条件一覧】

住宅ローン

- ご自宅に太陽光発電を設置される場合（機種は指定はありません）
- 住宅性能表示基準の省エネルギー対象等級が2以上の場合
- オール電化住宅
- 次のいずれかに該当するガス（LPガス・都市ガス）利用住宅
 - ・ ガス温水床暖房（ヌックなど）
 - ・ ガス空調システム（ガスヒーポンなど）
 - ・ ガス発電・給湯暖冷房システム（エコウィルなど）
 - ・ 高効率給湯器（エコジョーズ）
- びわ湖材（地産材）利用住宅
「びわ湖材産地証明制度」の認証を受けた住宅を購入するお客さま
※同制度は「県産木材活用推進協議会」が実施しています。同協議会は、県木材協会、県森林組合連合会、県建設業協会、県建築士会、県建築住宅センター、県建築組合の各団体が構成されています。

リフォームローン

- ご自宅に太陽光発電設備または下水道を設置される方

オートローン

- 低公害車を自家用車として購入される方

びわ湖材（地産材）について

滋賀県では、地元の木材を活用した住宅建築を奨励しており、本年6月より「びわ湖材産地証明制度」がスタートしています。当行も趣旨に賛同し、同制度の認定を受けた住宅にエコライフプランを設定することといたしました。住宅に地元で採取された木材を使うことで、森林整備やCO₂の固定化、長距離輸送に伴う環境負荷軽減など、環境問題への貢献は大きいとされています。

本優遇制度は全国的にも珍しく、先進的な取り組みであり、「環境銀行」を主要なビジネスモデルとして掲げる当行では、今後も行政や各種団体等と協力し、銀行業務を通じた環境負荷軽減に努めてまいります。

●環境関連預金残高に基づき、寄付を実施

お預かりした環境関連預金残高に応じ、平成18年3月には、765万円を下記、県内の環境保全3団体に寄付しました。また、寄付団体の1つである「淡海環境保全財団」さまが当行からの寄付金を活用して、滋賀県内の優れた自然環境の保全や環境改善等に貢献する団体への助成制度を創設されました。

【財団法人 淡海環境保全財団】



ヨシ刈りボランティア活動
(大津市小野)

【財団法人 滋賀県緑化推進会】



滋賀県緑化推進会によるサクラの植樹事業
(河西公園：守山市)

【財団法人 びわぎん緑と水の基金】



平成16年度 びわぎん緑と水の基金助成事業
校庭にビオトープ造成
(大津市立膳所小学校 PTA)

「環境銀行」の決算を公表しています

事業性ローン

●環境サポートローン

3R（リデュース・リユース・リサイクル）をキーワードとしたビジネスシーン拡大に対応し、事業者向けに目的別の5プランを設定しています。

- クリーン設備プラン ……大気汚染・水質汚濁を防止するための設備資金
- 省エネ設備プラン ……省エネルギー対策のための設備資金
- リサイクル設備プラン ……資源のリサイクルを行うための設備資金
- 土壌汚染改良プラン ……土壌汚染の防止・改良のための設備資金
- 環境産業支援プラン ……環境関連産業を営む事業者向けの設備資金

●ISOサポートローン

ISOをはじめ、各種環境規格の認証取得に要する資金に対応します。

●エコ・サポートローン

信用保証協会と連携して環境資金をサポートします。

環境コベナンツ付融資

企業の環境目的の達成状況により適用利率を変更する新しいタイプのご融資です。
例えば、新しい省エネ設備を導入した場合、後に成果が出ていれば、ご融資利率を優遇するという特約を交わします。地域金融機関として、ご融資がどのように使われ、活かされているかを検証する機能を重視しています。



環境コベナンツ融資取り組み企業と勉強会を開催

土壌汚染への対応

土壌汚染簡易診断システムを取り入れ、土壌汚染懸念物件の担保調査および担保評価手続きを厳格に行い、汚染が懸念される場合は洗浄されるまで新たな担保設定を禁止しています。

耐震調査等に対して専門家（一級建築士）を招聘

平成18年4月より、建築専門家（一級建築士）を顧問に迎え、建築構造計算書や耐震調査等の建築物に関わる検証体制を強化しています。昨今の建築構造計算書の偽造問題などから、建築物の耐震調査等に対して専門家の指導・助言を受けることがますます重要となってきたと考え、これに対応した体制を整えました。

当行がご融資に関わる建築物の調査精度を引き上げることに、お取引先には各種建築計画を安心して進めていただくことができます。

省エネ指南サービスを展開

お客さまの店舗や施設のエネルギー設備・機器に関する消費エネルギーを、管理区分別に詳細モニタリング（計測）することにより、各々の事業に適したコスト削減やマネジメント改善を推進するため、株式会社イーキュービックと提携して取り組んでいます。

お問い合わせは **077-521-1561** 【びわこ銀行 環境事業部】までお気軽にどうぞ

ますます進化するISO14001の運用

当行は全国の第二地銀に先駆けて国際環境規格「ISO14001」を取得し、自らの環境負荷低減に取り組んでいます。

雨水タンク「たまるくん」の設置

本店に、雨水を利用するためのリサイクルタンクを設置しました。洗車や花、植木への散水に活用するほか、地震など災害時における非常用水源の役割も果たします。



雨水タンク ▶
「たまるくん」

6年連続「ノーネクタイ運動」の継続

当行では、社会の動きに先駆けて平成13年度から「ノーネクタイ運動」に取り組み、省エネに大きな成果を上げています。



6年連続で ▶
「ノーネクタイ運動」を実施

リサイクルペーパーの寄贈

銀行で使用済みとなった紙類をダンボール素材やトイレットペーパーとして再生しています。毎年、リサイクル処理したトイレットペーパー1万ロールを滋賀県教育委員会を通じて、県立障害児諸学校（12校）に寄贈しています。



児童・生徒の ▶
1年分の使用量にあたる1万ロールを寄贈

苗木の寄贈

昭和50年以降、県内の学校や公園、社寺へ苗木の寄贈、県内多くの場所で美しい花を咲かせています。その後、毎年春と秋に滋賀県緑化推進会を通じ、サクラやモミジなどの苗木寄贈を継続しており、平成18年3月現在、累計11万6千本に達しています。



30年以上続く ▶
苗木の寄贈

トピックス

環境銀行

環境銀行決算

当行では、環境に関する資金調達と運用を明確にし、環境銀行の損益を公表しています。平成18年3月期は、環境関連預貸金が順調に増加し、順調に成果を積み重ねることができました。

	(百万円)		
	平成17年3月期	平成18年3月期	
※1 環境関連融資に対する利息です。	経常収益	330	376
	資金運用収益	312	345
	うち貸出金利息(※1)	(47)	(59)
	うち部門間運用利息	(265)	(286)
	役員取引等収益(※2)	0	0
	その他業務収益	17	30
	経常費用	270	259
※3 環境関連預金に係る利息です。	資金調達費用	22	33
	うち預金利息(※3)	(22)	(33)
	役員取引等費用	6	9
	その他業務費用	2	0
※4 原価計算を用い、環境関連事業の経費を算出しています。	営業経費(※4)	239	215
	経常利益	60	117